
【紹介】金姪玟氏による特別講演ならびに論稿 「韓国会計実務における国際会計基準導入の影響」の意義

甲南大学会計大学院 教授 齊野純子

2013年1月17日（木）、国際交流の一環として、韓国啓明大学助教授の金姪玟氏を講師として招き、「韓国会計実務におけるK-IFRS導入の影響」と題する特別講演会を開催した。その主たる目的は、わが国におけるIFRS適用の是非をめぐって、その意義や問題点を考察する機会を学生達に提供することにあった。

周知のとおり、わが国では、2009年6月に企業会計審議会より「我が国における国際会計基準の取扱いについて（中間報告）」（企業会計審議会[2009]）と題する報告書が公表された。当該報告書では、2010年3月期より任意適用を開始すること、強制適用の時期として2015年3月期を目途とすることが示された。その後、任意適用は提案どおり、2010年3月期以降の財務諸表より認められたが、強制適用の方針については、2011年6月に当時の自見金融相によって撤回されるに至っている。これにともない、2016年3月期をもって適用を終了するとされていたアメリカ基準に基づく開示については、適用期限を撤廃し、引き続き使用することが可能となった。自見金融相が退任した現在、任意適用の拡大が検討されている（金融庁[2012a]、金融庁[2012b]）。

このように、一時はIFRSの強制適用を求める動きが急速に進んでいたにもかかわらず、一転して強制適用が撤回された背景には、アメリカの方針転換がある。SECはかつて、IFRSに準拠して財務報告を行うアメリカ国外の企業に対して、純損益と自己資本についてはアメリカ基準に準拠した場合の調整表を作成するよう求めていたが、この規定を2007年に削除した。また、2008年にロードマップを提案し、2014年からアメリカの発行企業に対してIFRS適用を要求するか否かを2011年に判断すること、場合によっては特定の発行企業に対して2009年からIFRSの早期適用を認めることを表明していた。しかし、こうした方針は、政権交代にともなうSEC委員長の交代等によって変更を余儀なくされ、2012年にSECによって公表された最終報告書（SEC[2012]）では結局、IFRSの強制適用に関する決議が先送りされている¹。

こうした状況を受けて、わが国においてIFRSの強制適用に対する批判的な見解が強まり、慎重な議論が展開されるようになったことは否めない。しかし、それは、IFRSをた

¹ IFRS財団のスタッフによって、SEC[2012]を分析した報告書（IASB[2012]）とその翻訳版が公表されている。

だ批判すればいいとするものではない。IFRS それ自体の基礎にある考え方を改めて整理し、そのうえでIFRS適用の影響、意義、および問題点を現実的に、かつ慎重に議論する必要がある。この点に対して、今回の特別講演は大いに貢献するものであった。

IFRS適用の是非をめぐる議論に対して少なからぬ示唆を提供し得るのが、IFRSを実際に強制適用している先行事例である。企業会計審議会の調査によれば、同審議会が調査を行った世界96ヶ国のうち83ヶ国がIFRSを適用している²（企業会計審議会[2012]、6頁）。また、Deloitte Touche Tohmatsuによれば、国内の上場企業に対してIFRS適用（任意適用を含む）を認めている国は、調査を行った174ヶ国のうち125ヶ国であった³。

なかでも韓国は、IFRS導入に積極的な国のひとつである。後述されるように、韓国が採択した国際会計基準（K-IFRS）が2009年から早期適用されており、IFRS適用が財務諸表や会計実務に与える影響を検証する研究が蓄積されつつある。

こうした状況に鑑み、金氏に講演を依頼する次第となった。金氏は、国際会計研究を専門とし、制度派経済学を援用した制度研究を行っており、会計制度の設計や変化の分析に優れている。京都大学大学院経済学研究科博士後期課程にて学位を取得し、日本語が流暢であることはいうまでもないが、帰国後も日本会計研究学会等において積極的に報告を行っており、わが国の事情に精通している。

本稿に続く金氏の論稿「韓国会計実務における国際会計基準導入の影響」は、特別講演の内容に基づいたものである。まず、K-IFRSの導入状況が示された後、早期導入の要因として、（1）財務諸表の信頼性を確保するうえで早期導入が必要であった点、（2）韓国金融監督院（KFSC）による支援や便益を受けるために早期導入が求められた点、（3）固定資産に対する公正価値評価の適用によって財務構造の改善が期待された点、および（4）連結範囲の拡大によって実質に近い財務数値を示すことができる点などが指摘されている。ついで、K-IFRSが財務諸表の数値に与える影響を、韓国会計基準（K-GAAP）に基づく財務諸表との比較を通じて明らかにしている。分析対象の会計処理として、①連結範囲の拡大、②固定資産の再評価モデル、③機能通貨制、④退職給付会計、および⑤財務諸表の表示（とりわけ注記開示）の5点があげられている。さらに、K-IFRSの導入が会計実務とりわけ会計システムに与えた影響を検討し、K-IFRS導入が成功した要因を明らかにしている。金氏の論稿は、それが特別講演会の記録であることにとどまらず、わが国におけるIFRS適用の影響を考察するにあたって基本とされるべき視点ならびに分析方法を示しており、この点において今後の研究に対して貢献し得る。

なお、このたびの講演会は、本学の国際交流助成によって実現したものである。最後になったが、記して関係者の方々への謝意を表したい。

² IFRSの適用には、コンバージェンス（収斂）とアドプション（採用）の2つの適用形態がある。企業会計審議会[2012]による調査では、コンバージェンスとアドプションが定義されておらず、調査対象国の回答は各国が考えるコンバージェンスまたはアドプションに従って作成されている。企業会計審議会[2012]、2頁。

³ この点については、<http://www.iasplus.com/en/resources/use-of-ifsrs>を参照されたい。

【参考文献】

- IFRS Foundation[2012], *Report to the Trustees of the IFRS Foundation, IFRS Foundation Staff Analysis of the SEC Final Staff Report – Work Plan for the Consideration of Incorporating IFRS into the Financial Reporting System for US Issuers*, 22 October 2012, <http://www.ifrs.org/Use-around-the-world/Global-convergence/Convergence-with-US-GAAP/Documents/Analysis-of-SEC-Final-Staff-Report.pdf>. (「IFRS 財団の評議員会に対する報告書 – IFRS 財団スタッフの分析：SEC 最終スタッフ報告書『米国の発行企業に係る財務報告制度への IFRS の組み込みの検討に関するワークプラン』について」2012年10月22日、<http://www.ifrs.org/Alerts/PressRelease/Documents/2012/JaStaffanalysisSEC.pdf>.)
- SEC[2012], *Work Plan for the Consideration of Incorporating International Financial Reporting Standards into the Financial Reporting System for U.S. Issuers*, Final Staff Report, <http://www.sec.gov/spotlight/globalaccountingstandards/ifrs-work-plan-final-report.pdf>.
- 企業会計審議会 [2009] 「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書」金融庁、<http://www.fsa.go.jp/news/20/20090630-4.html>.
- 企業会計審議会 [2012] 「各国の IFRS 適用状況調査結果」(2012年4月17日) 金融庁、http://www.fsa.go.jp/singi/singi_kigyousiryousoukai/20120417/03.pdf.
- 金融庁 [2012a] 「自見内閣府特命担当大臣閣議後記者会見の概要」(2012年6月4日) 金融庁、<http://www.fsa.go.jp/common/conference/minister/2012a/20120604-1.html>.
- 金融庁 [2012b] 「松本内閣府特命担当大臣閣議後記者会見の概要」(2012年6月4日) 金融庁、<http://www.fsa.go.jp/common/conference/minister/2012a/20120604-2.html>.
- 自見庄三郎 [2011] 「IFRS 適用に関する検討について」(2011年6月21日) 金融庁、<http://www.fsa.go.jp/common/conference/minister/2011a/20110621-1.html>.